

スタート!

小中一貫教育 多久の義務教育9か年の新たな挑戦

連載 No.2

■問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-2227



各小中一貫校校長に聞く 学校経営への抱負

大きな夢の実現に

向かって!



東原彦舎中央校
校長 太田 春美

私たち教職員は、児童・生徒一人ひとりが、
○自分の夢や希望は何か
○今の自分の行いが成長につながるか
○今の自分は他人の役に立っているか
などを自分に問いかけ、教育活動を学校生活の中に取り入れていきます。



東原彦舎東部校
校長 古賀 一哉

誠実・夢・実践

東部校は、施設一体型小中一貫校として小・中学校の教職員が共に指導できるよさを生かし、新たな教育活動に挑戦していきます。
『本年度の教育目標』
思いやりの心を持ち、学ぶ意欲に満ちた児童・生徒の育成



東原彦舎西溪校
校長 今泉 弘

『学校』で学び、『家庭』で育ち
『地域』で伸びる『西溪の子ども』

『学校教育の方針』
地域に根ざし、地域と歩み、地域に信頼される学校を目指して、郷土を愛し、21世紀を「生き抜く力」を育みます。
また、確かな学力を身につけさせ、「思いやり【愛】とたくましく【心】を育てること

『本年度の重点的な取り組み』

1. 夢や希望を軸に、「キャリア教育（進路指導）」を充実させます
2. 「思いやりや感謝」を軸に、
○全児童・生徒が「トイレ磨き活動」を体験できるよう充実させます
○学校や地域に対する感謝の気持ちを伝えるため、校舎への「感謝の礼」を奨励します
○「命」に対する真剣な思いと真摯な態度を培う「命の教育」に取り組みます

『一人ひとりの可能性を広げる教育を』

4月2日の開校式では、生徒会長の上戸慎也さんが、「周りの人を思いやる『誠実さ』を育み、未来への『夢』を高く持ち、意欲を持って『実践』していきます」と誓いの言葉を力強く述べました。しっかりと受け止め、全教職員が一丸となって教育を進めていきます。また、経験を超えたより価値の高い方策を生み出すための柔軟な発想を求め続けていきます。

を目標に創意ある教育を展開します。

さらに、自信と誇りを持ち、自ら学び、心豊かにたくましく生き抜く西溪つ子育成のために、伝統ある釈菜の舞、腰鼓などしっかりと継承します。

『本年度の重点的な取り組み』

- さらなる学力の向上・定着「教師の授業力（指導技術等）の向上」を目指します
- 心の教育の推進に努めます

4/2 小中一貫校開校式

小中一貫校の開校式を中央公民館で行いました。
横尾俊彦市長は式辞で「一貫教育の始まりが文教都市・多久の教育元年となるよう、市を挙げて力を注ぎたい」、江口吉則教育委員長は告辞で「小中一貫教育は市の教育の集大成です。地域に開かれた学校、そして家庭と学校が手を取り合って子どもたちの未来に向けて歩んでいきます」と述べました。
式では、中央校、東部校、西溪校に校旗・校章が授与されました。誓いの言葉では、中央校の生徒会長 梶原陸美さんが「私たち、児童・生徒がアイデアを出し合い、自信を持って楽しいと答えられる学校づくりを進めます」と述べました。最後に、来場者全員で3校の校歌を力強く斉唱し、式典を締めくくりました。



▲中央校校旗・校章の授与



▲東部校校旗・校章の授与



▲西溪校誓いの言葉



▲会場全体で校歌斉唱

4/8

スクールバス出発式を行いました



▲テープカットの後出発するスクールバス

児童・生徒の通学支援のため運行するスクールバスの出発式が、待機所となる浦山区「ミニ二丁目プラザ跡地」で行われました。
スクールバスは、小中一貫校の開校に伴い通学距離が2kmを超える小学生と、6kmを超える中学生が利用します。車体は、子どもたちを安全に送迎するため注意喚起の黄色にしました。
市内全域で17台、24路線を走ります。

5月の定例教育委員会は9日(木)

■問い合わせ 教育委員会 教育総務課 ☎75-3450
時間 10時～
場所 市役所 第2委員会室（傍聴は自由です）